

宮崎県キャリア教育支援センター通信



キャリア教育支援センター
通信 (QRコード)

トピックス

1. 1学期の活動実績
2. 今号のピックアップ動画
3. 活動事例(裏)
4. コーディネーターのオススメ書籍

「防災の日」を機会に、備えを見直す方もいらっしゃると思いますよね。不確実性の高い時代の備えとして、予期しないことが起きた時に「それはちょうどいい!」という言葉で始める練習をしています。「大変です。●●が起きました」「それはちょうどいい!〜しよう」という具合です。時々苦しいのですが、生きる力をつけるための筋トレ!と言い聞かせて頑張っています。気が向いた方は一緒に筋トレしませんか(笑)?

編集担当: コーディネーター 福島 梓

1学期の活動実績 (令和3年4月1日~8月31日)

	件数						計
	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	教育委員会	その他	
講話・講師	0	13	1		-	0	14
よのなか教室	1	8	0		-	0	9
ジョブシャドウイング	0	0	0		-	0	0
ひなた場	0	1	0		-	0	1
企画運営支援(探究PBL)	2	24	21		-	0	47
職員研修	0	3	1		0	0	4
その他							
合計	3	49	23		0	0	75

	受講者数						計
	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	教育委員会	その他	
講話・講師	0	762	0		-	0	762
よのなか教室	56	610	0		-		666
ジョブシャドウイング	0	0	0		-		0
ひなた場	0	25	0		-		25
企画運営支援(探究PBL)	10	1289	1063		-		2362
職員研修	0	0	50		0		50
合計	66	2686	1113		0	0	3865

たくさんのご依頼を
いただきました!



コロナ禍において、どのようにキャリア教育を進めていけば良いのか悩みながらのご依頼だったかと思います。今年度は、感染対策をした上で実施するという決定も見られました。実施できるかわからない段階でも、一緒に考えていきます。お気軽にご相談ください。



飛んで行って
お役に立ちたい
・・・(心の声)

今号のピックアップ動画

<動画のココミテ!>

- ・夢を持つよりも大事なこと
- ・キャリア設計で必要なこと

宮崎にある着ぐるみBIZという素敵な会社を知っていますか?

「みやざき犬」や「つのピオン」などのゆるキャラの着ぐるみたちが生まれている会社です。

代表の加納さんのキャリアは、もともと社長になりたいという強い志ではなく「人との出会い」でキャリアを形成されています。

夢を持たなくてもいいとお話されている加納さんから、これからのキャリア形成について学ぶところも多い動画になっていますので、ぜひご覧ください。予測不可能な時代だからこそ、自分のことを知ることが大切だと学ぶ動画になっています。



※右のQRコードから動画をご覧ください。



キャリア教育コーディネーターの活動から事例を紹介します
「うちの学校でもやってみたい！」などありましたら、お気軽にお声がけください。



えびの市立飯野中学校にて、 「えびのお仕事図鑑プロジェクト」を実施しました。

新型コロナの影響で職場体験学習が中止に。その2日間を使って何かできないかとご相談をいただき、先生方と一緒に作り上げました。

内容は、えびの市で働く大人にインタビューを行い、記事を作成し、冊子にして地域で配付するというもの。えびの市商工会様にこの仕事の発注者になっていただき、生徒たちはそれを請け負うという形の職場体験です。

- ・インタビューを通じて、地元で働く人や仕事について知ること
- ・仕事図鑑の制作という仕事に取り組むことを通じて、働くことへの理解を深めること

の2点を目的としています。

初日は取材・記事の書き方講座を受け、午後にはインタビューの本番。16名もの方に学校にお越しいただき、生徒たちの質問にお答えいただきました。

翌日は記事の作成。タブレットで撮影した動画を見返しながら、聞いた内容の整理、構成の検討、記事化、キャッチコピー作りと紙面の作成に取り組みました。

延岡星雲高校、日向高校3年生が、 「海外の人が住みやすいまちづくり」をテーマに、 ベトナム語でのごみ出しルールブック、 簡単な日本語で書かれたパンフレットを作成！

いま多くの高校が、課題解決に向けた「探究学習」に取り組んでいます。

この探究学習の中で、海外の人たちが文化や習慣の違う日本で暮らしていて、ゴミの分別に苦労していることに気付いた高校生たちがいました。

日向高校3年生のグループは、簡単な日本語にしてパンフレットを作ることを思い付き、それを作成して配付しました。延岡星雲高校3年生のグループは、ベトナム人の技能実習生たちから話を聞く中で、市に用意されているのは日本語と英語のパンフレットしかないことを知ります。

ごみ出しで多文化共生考える 延岡青雲高、日向高生がパンフ

7/14(水) 11:53 配信 1 1 1

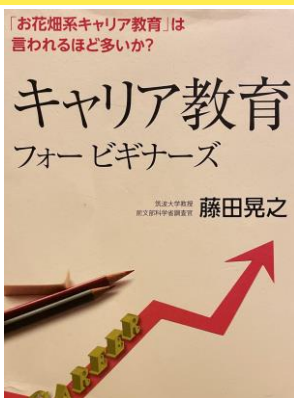
宮崎日日新聞
MIYAZAKI PRESS



多文化は... 向けに、県北の高校2校の生徒
**7月14日 宮崎日日新聞
に掲載されました！**

そして何とベトナム語でのパンフレット作成に挑戦し、様々な壁を乗り越えてそれを実現したのです。両高校生いずれも、外国人技能実習生たちが自分たちの身近にたくさん働いていることを初めて知り、多文化共生に取り組んだのでした。

西立野コーディネーターより、オススメの一冊をご紹介します



日本の教育政策関連公的文書に「キャリア教育」という言葉が初めて登場したのが1999年12月の中央教育審議会答申です。この本は、日本のここ20年近くのキャリア教育の取組を（変遷も含めて）

- 第1章「そもそもキャリア教育って何？」
- 第2章「学びの意味・・・」
- 第3章「新学習指導要領が導くものとは？」
- 第4章「実践をどうするか？」

の4章仕立て全25話にわたって、わかりやすく紹介しています。

特に、第5話「職場体験活動再考」、第19話「キャリア教育の要としての特別活動～その歴史的背景を探る」、第20話「キャリアパスポートがやってくる」（～第23話まで関連）の項目は、現在、各学校でも課題になっている部分でもあり、非常に参考になるものと思います。
キャリア教育担当者のみならず、多くの先生方に紹介したい本の一つです。



藤田 晃之 著
「キャリア教育
フォービギナーズ」
をおすすめします！